2023 年 8 月 4 日

東京都知事殿

住 所 東京都板橋区小豆沢2-12-7

# 地球温暖化対策報告書提出書

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第8条の23 (第1項)の規定により 地球温暖化対策報告書を次のとおり提出します。

温の	球温暖化対策事業室効果ガス排出事業氏名(法人にあって称及び代表者の氏名	者 し は	医療法人社団 明芳会 理事長 中村 哲也
温の	球温暖化対策事業室効果ガス排出事業住所(法人にあってたる事務所の所在地	者」 は	〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
地	球温暖化対策報告	書	別添のとおり
連	絡	先	医療法人社団 明芳会 IMSグループ本部事務局 総務部 田村晃樹 電話番号 03-3965-5971 tamura.koki@ims.gr.jp 【事業者のMS法人を連絡先とする。】 株式会社アイセルネットワークス 建築事業部 設備兼保守部 吉本尚弘電話番号 03-5220-5400 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内ビルディング11階 n.yoshimoto@i-cell.co.jp
<b>*</b> 5	受付欄		

(日本産業規格A列4番)

#### 1 事業者の氏名等

事 ( )	業	者 の あって 表者(	) 氏 て <i>はる</i>	名	医损	<b>寮法</b>	人社	:団	明	<u> </u>
及で	ブ代	表者の	の氏	名)	理	手長	中	村	哲也	1
事	業	者	番	号	А	0	7	1	5	

2 報告する事業所等の全体の状況(2022年度の状況)

条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数			原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計		kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	0	事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	11,055	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評	価	対	象	事	業	所	等		義務提出事業所等		全事業所
---	---	---	---	---	---	---	---	--	----------	--	------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

					2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
合言	十二酉	酸化炭	素排出	出量	10,926.00	10,975.00	11,136.00	11,159.00	11,055.00	t
合	計	延床	面	積	98,176.24	98,176.24	98,176.24	98,176.24	98,176.24	m²
合	計	原	単	位	111.28965	111.78875	113.42866	113.66293	112.60361	kg-CO <sub>2</sub> /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率	-0.29	%
平均合計原単位改善率	-0.29	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

0 1177 11111 1114	42/11/11 1 7K//13/1/C 0 111	<u> </u>
再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 数	0	事業所
再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価		ランク
-----------------	--	-----

8	実績年	度の	目	樗達	FF (	<b>刀</b> 址	<del>( 1</del>	<b>帰</b>
O		/ <del>V</del> V /	ш	1元 1干	リスス・ヘ	ノノイ	ハィ	71

実 績 年 度 の 目 標 達 成 の 状 況 □ 目標達成した。

### 9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目	標	D	有	無		有	無		
合	計二計	酸化	炭素	- 排 出	量	削減率		1	%
合	計	原	単(	<u>√</u> i	改	善率			%
再	生可能	ニエネ	ルギー	- 導/			%		
そ			の			他	特記事項	質に内容を	記載

### 10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル 2

#### 11 事業者としての取組

取組方針

各事業所に通達された基本的部分での省エネへの取り組みの徹底と実践による、設備機器等の更新・追加設置に際し効率的な機器を選定し順次CO2・エネルギーの削減対策を進めて行く。新築・建替え・改修工事についても、CO2・エネルギーの削減を十分に考慮し計画する。グループの各施設が一体となって医療の影響のないレベルで節電に努める。

		重点対策	その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
	A108	組織横断的な推進体制の整備	A101	地球温暖化対策の方針等の設定		
組織体制の	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	A102	温暖化対策推進担当の配置		
整備の状況			A107	排出状況の整理・分析・提供		
			A116	所内会議・研修会等で報告		

#### 12 特記事項

本年は、節電対策として医療に影響のない範囲における使用していない部屋の消灯及びLED照明への変更を行った。 また、室内温度、外気温度等の測定を行い室内環境を損なわない程度で空調熱源の冷温水温度を調節し電気使用量 を抑える対策を継続中。CO2排出削減目標として2022年度に対して2023年度において1%の削減を目標としています。

#### 1 事業所等の概要

	7 / 1 4//			-																			
事	業所	等	の名	称	板棉	喬中:	央総	合组	病院	B∼	G												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	1									
					₹	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都板村	喬区			
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	<b>地</b> 下	小豆		-19-1								_					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		20	,431	.11	$m^2$	事	業 所 ネ ル	r 等 レキ	の : 	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊	度期	の 間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	2所7	<u>有</u>		] 他	者列	뒦						_					
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の	)—₽	郭 (ラ	テナ	ン	<b>、</b> )			〕建物の	一部	(そ	の他)	)
去口	告範囲	I M F	ーたス日	1 /2		事務	丽					商業	纟施言	没(4	物	坂)			〕商業施	設(負	次食	)	
干区	口型近	リマノユ	ニルクカ	7 0匹		工場	<u>크</u> 7					複合	施	設					●その他				
に	本 標 おける	6細2	分類番	号	8	3	1	1		鎖化	(事業	<b>美区</b> 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		非語	该当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	· 况				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	/ギ	一電	È	□ 証書(の利)		環境	価値	
前か	年度らる	の 執 り <i>ਭ</i>		容点																		·	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1)	1,467	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	2,855	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	19	t
	総計(④=②+③)	4	2,874	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	139.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

		, , , , , ,				4.4.10	埶昰		炭素排出量
## (By) (By) (By) (By) (By) (By) (By) (By)	排出 係数	排出量**1							
	燃料等の 燃料 をの他 (LPG) その他 (大油) その他 () その他 () その他 () その他 () その他 () その他 () その他 () その他 () その他 の電電事業者の電線路を介して 供給された電気 その他の買電(昼初 見則第5条の17第33		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	177,073.7	45.00	7,968.3	0.0136	397.4
	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
が執	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_		昼間(8時~22時)		kWh	3,304,463.0	9.97	32,945.5	0.4890	1,615.9
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,721,768.0	9.28	15,978.0	0.4890	841.9
	及 その他(灯油) □ L 0.0 36.70 0.0 0.0185	0.0							
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 56,891.8		<sup>(15)</sup> 2,855.2
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	28,958.0			0.2660	7.7
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	28,958.0	/		0.4000	11.6	
		合 計				/			19.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> п ⟨	か 仕 型 の 軟 供			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>於</b> 且 有	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		D100		D101	4> 1 7 744
エン	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
エネ					
ルギ					
]		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	  設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
策	以加压力为水			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	  設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	以			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

### 6 特記事項

使用していない場所の照明を消灯、及び照明のLED化を進めている。白熱電灯はほぼ取替が完了し 直管型の蛍光灯については、1日15時間以上点灯している系統を優先的に更新中。CO2の排出削減として、前年の1%削減を目標としている。

#### 1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100	·														
事	業所	等	の名	称	板棉	喬中	央総	合約	病院	Α								
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	2				11.
					₹	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町ヶ	村:	名 東京都板橋区
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	<b>地</b> 下	小豆	汉2-	-12-7	7							
事	業所等	等の	延床面	ī積		4	,461	.00	$m^2$		業 ア ネ ル				漬 <sup>左</sup> : 用			の ■ 1年度分 □ 1年未満
所	有	•	形	態		自己	1所1	有		〕他	1者列	桁						-
報	告	-	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の	)—‡	郭(ラ	・ナ	ント)			□ 建物の一部(その他)
却	告範囲	I	ーたフロ	口冷		事務	丽					商業	纟施言	没(‡	勿販	()		□ 商業施設(飲食)
羊収	古軋世	コリノユ	こにつ月	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	設				■ その他
に	本 標 おける	5 細 2	分類番	号号	8	3	1	1	連	鎖化	/事業	<b>美区</b> 2	分		直	営川	店	□ 加盟店 ■ 非該当
再の	生可能	能工用	ネルキ 状	: 元				ミエネ 背の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	-電	□ 証書による環境価値 の利用
前か	年度らい	の 執 の <i>落</i>		容点														

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 135	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	264	: t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	④ 265	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 59.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

## 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , ,				4.4.10	熱量		炭素排出量
### 使用 ###  ###  ###  ###  ###  ###  ##		単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)		
	燃料等の種別 都市ガス その他(LPG) その他(大油) その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 を間(22時〜翌年) その他の買電(昼夜間不明の場合を含 即第5条の17第3項の場合のみ合計		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>尔</b>	(t) 10=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	2,526.8	45.00	113.7	0.0136	5.7
料料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
が執	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_		昼間(8時~22時)		kWh	352,491.0	9.97	3,514.3	0.4890	172.4
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	176,974.0	9.28	1,642.3	0.4890	86.5
電 の電線路を介して 供給された電気 夜間(22時~翌日8時)	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0				
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 5,270.4		264.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,819.0			0.2660	0.7
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	2,819.0	/		0.4000	1.1	
		合 計							1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □	<b>並 牙 却 の 畝 唐</b>			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>於</b> 且	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
省エネ	運用対策				
ルギー 対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102 D104	セントラル空調のフィルター清掃 空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	取   佣 等 八 刈 束			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無					_	
	ベンチマーク区	☑分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%	
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t	
	その他		特記事項に内容を記載					

### 6 特記事項

昨年と同様に旧式の壁掛けエアコン等を順次効率の良いものに更新し、建替えを視野に入れた対策を継続実施中。医療行為に支障のない範囲で消灯対応してきたが、数年前より順次LED化を出来るところから進めている。目標としては、前年に対して1%のCO2排出削減を目指している。

#### 1 事業所等の概要

	7 / 1 4//			-																			
事	業所	等	の名	称	板棉	喬中:	央総	合组	病院	B∼	G												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	1									
					₹	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都板村	喬区			
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	<b>地</b> 下	小豆		-19-1								_					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		20	,431	.11	$m^2$	事	業 所 ネ ル	r 等 レキ	の : 	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊	度期	の 間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	2所7	<u>有</u>		] 他	者列	뒦						_					
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の	)—₽	郭 (ラ	テナ	ン	<b>、</b> )			〕建物の	一部	(そ	の他)	)
去口	告範囲	I M F	ーたス日	1 /2		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)																	
干区	口型近	リマノユ	ニルクカ	7 0匹		工場	<u>크</u> 7					複合	施	設					●その他				
に	本 標 おける	6細2	分類番	号	8	3	1	1		鎖化	(事業	<b>美区</b> 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		非語	该当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	· 况				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	/ギ	一電	È	□ 証書(の利)		環境	価値	
前か	年度らる	の 執 り <i>ਭ</i>		容点																		·	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1)	1,467	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	2,855	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	19	t
	総計(④=②+③)	4	2,874	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	139.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

		田玉 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	177,073.7	45.00	7,968.3	0.0136	397.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	3,304,463.0	9.97	32,945.5	0.4890	1,615.9
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,721,768.0	9.28	15,978.0	0.4890	841.9
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
					<sup>(4)</sup> 56,891.8		<sup>(15)</sup> 2,855.2		
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	28,958.0			0.2660	7.7
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	28,958.0	/		0.4000	11.6	
		合 計			/			19.3	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> п ⟨	か 仕 型 の 軟 供			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>於</b> 且 有	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		D100		D101	4> 1 7 744
エン	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
エネ					
ルギ					
]		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	  設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
策	以加压引剂水			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	  設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	以			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

### 6 特記事項

使用していない場所の照明を消灯、及び照明のLED化を進めている。白熱電灯はほぼ取替が完了し 直管型の蛍光灯については、1日15時間以上点灯している系統を優先的に更新中。CO2の排出削減として、前年の1%削減を目標としている。

#### 1 事業所等の概要

	3 /1~/	/ · •	- 100																				
事	業別	<b>デ</b> 等	の名	称	イム	ス記	己念	病院	i														
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	4									
					Ŧ	1	7	4		0	0	7	1	区	市	町	村	名	東京都板	橋区			
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	* 地 下	常盤	全台4-	-25-5	5												
事	業所	等の	延床面	ī積		3	,827	.51	$m^2$	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 <i>i</i> ・ 使	績 [  /	年		の間	■ 1年月	度分		] 1	年未満
所	有	Î	形	態		自己	所	有		] 他	者原	斤有											
報	. <u></u>	î	範	囲		建物	<b></b> カの全	全部		〕建	物の	)— <u>‡</u>	郭(ラ	ーナ	ント	<b>、</b> )			〕建物⊄	)一剖	ያ(そ	· の作	也)
却	生新田	目の主	こたる月	] 冷		事務	所					商業	き施 き	没(4	物具	反)			〕商業旗	起設(1	飲食	£)	
+IX		ц v Л ユ	-10011	1 1		工場	<del>具</del> 分					複合	ì施i	設					■その他	1			
に	おける	る細ク	ミ業 分 分類番	号	8	3	1	1	連	鎖化	(事)	<b>業区</b> :	分		Ī	直営	店		□ 加盟	]店		■ ∌	丰該当
再の		能エ 用	ネルキ 状	江沢				ミエネ 背の設	ルギ 置	_			三可能 ) 受 <i>入</i>		ネル	ギ	一電	Ì	□ 証書の利	による  用	5環点	竟価	値
前 か		の 執 の 多	设 告 内 定 更	容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 257	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	<sup>②</sup> 500	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 8	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 508	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 130.6	$kg-CO_2/m^2$

	<u>— FX (10/) (7/(1/)</u>	田田 (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	<b>®</b> =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	12,698.0	45.00	571.4	0.0136	28.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	675,569.0	9.97	6,735.4	0.4890	330.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	289,529.0	9.28	2,686.8	0.4890	141.6
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	規則第5条の17第3項の場合のみなし			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						9,993.7		500.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	13,153.0			0.2660	3.5
他	1 1 1 1 T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			$\mathrm{m}^3$	12,068.0	/		0.4000	4.8
					/			® 8.3	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □ «	サ 仕 判 の 軟 歴			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土 7	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	the second	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
,					
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
工					
ネル					
ギ					
]		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	】 設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
ж	BY NU by 1 1/1 yr			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	   設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	H人 VIII サババ 水			E137	高効率変圧器への更新・台数集約
	_				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

### 6 特記事項

基本対策を徹底しデータの分析後、機器等の更新を行う。節電対策として、医療行為に影響のない範囲で消灯を行い、 LED化を実施。白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。昨年と同様に直管型蛍光灯についてもLED化を実施。 CO2排出について前年に対して1%の削減を目標としている。

#### 1 事業所等の概要

業 所	等	の名	称	イム	スを	[橋]	Jハt	ごリ羽	ክ院													
業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	5									
_				₹	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都	板橋区	ζ.		
業所	等 σ	所在	地	町以	名 番	F 地 下	小豆	[沢3-	-11-1													
業所等	等の タ	延床面	ī積		6	,332	.52	$m^2$	事	業	「等 レキ	の 	実 <i>i</i> 使	績 [	年 刊 :			■ 1 <sup>左</sup>	F度分			1年未満
有		形	態		自己	2所7	有		〕他	者原	斤有											
告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の	)— <u>‡</u>	郭(ラ	ナ	ン	<b>、</b> )			〕建物	<b>ブの一</b>	部(-	その	他)
<b>北</b>	I D F	・チェロ	1 %		事務	骄					商業	纟施言	没(	物具	坂)			〕商業	<b>施設</b>	(飲	食)	
古軋世	リワユ	こにの月	1 述		工場	<u>크</u>					複合	施	没					■ その	他			
おける	細	分類番	号	8	3	1	1			么事美	<b>業区</b> :	分		l <u>I</u>	直営	店		□加	盟店			非該当
生可能	能工 用	ネルキ 状	ž — 況						_					ネル	ノギ、	一電	Ė			:る雰	環境化	面值
			容点			·	·		·	·												
	<ul><li>業 業 告 本お生 年</li><li>業 所 所 有 告 囲 標 る 前</li></ul>	業 所 等 の 業 無 無 なお 生 年 をお ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形 年 告 範 囲 を たる 月 告 範 生 一 本 だ す で ま 数 ル 状 生 可 利 に 用 の 報 告 内 番 き で の 報 告 内	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標を類が上で、 年間の報告内容	業所番号A 業所等の所在地  デリン 業所等の延床面積  有 形 態	業所番号A 0  業所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積	業所番号A 0 7  業所等の所在地  「 1 7  町以 名番地 以 名番地 以 名番地 以 名番地 以 名番地 以 名番地 に 音 節 囲 自己所名	業所番号A 0 7 1  業所等の所在地  「 1 7 4  町以 4 番 地  以 5 番 地  以 6,332.52  業所等の延床面積 6,332.52  着 形態 自己所有	業所番号A 0 7 1 5  業所等の所在地  「T 1 7 4 0  TT A 番 地 以	業所番号A 0 7 1 5 一 業所等の所在地 以 8 番地 以 7 4 一 0 町 3 番地 以 7 4 一 0 町 3 番地 小豆沢3-11-1 業所等の延床面積 6,332.52 m² 事 有 形態 自己所有 □ 他 告 範囲 建物の全部 □ 建物の全部 □ 建物の全部 □ 建物の全部 □ は 本標準産業分類 8 3 1 1 連鎖化 本標準産業分類番号 8 3 1 1 連鎖化 本標準産業分類番号 8 3 1 1 連鎖化 本標準産業分類番号 8 3 1 1 重鎖化 年 可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 利 用 状況 □ 発電設備の設置	業所番号A 0 7 1 5 一 0 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 年 m f f m f m f m f m f m f m f m f m f	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 0 年 所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 5 1 区 町名番地以 小豆沢3-11-1	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 5 1 区市 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 5 1 区市町 ※ 所等の所在地 切 A 番 地 以 ターファンス・コート を	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 5 1 区市町村	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 5 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 5	業所番号AO715-0005  業所等の所在地  町 名番地 以	業所番号A0715-0005  業所等の所在地  「174-00051 区市町村名」東京都板橋区  「174-00051 区市町村名」東京都板橋区  「174-00051 区市町村名」東京都板橋区  「174-00051 日 区市町村名」東京都板橋区  「174-00051 日 区市町村名」東京都板橋区  「174-0005 日 日 用 期間 ■ 1年度分  「174-0005 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	業 所 番 号 A 0 7 1 5 - 0 0 0 5

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 328	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 636	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 100.4	$kg-CO_2/m^2$

## 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	その他(灯油) その他() その他() 一般送配電事業者	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	33,410.5	45.00	1,503.5	0.0136	75.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
700	その他()				0.0				
		昼間(8時~22時)		kWh	806,341.0	9.97	8,039.2	0.4890	394.3
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	342,217.0	9.28	3,175.8	0.4890	167.3
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
							<sup>(14)</sup> 12,718.5		636.6
その				$\mathrm{m}^3$	16,092.0			0.2660	4.3
他	1 / 11. <del>- 1</del> . 74			$\mathrm{m}^3$	16,092.0			0.4000	6.4
		合 計							10.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> п «	かみまる乾は			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>和</b>	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
省エネ	運 用 対 策				
ルギー 対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102 D104	セントラル空調のフィルター清掃 空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D104	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	省 エ ネ ル ギ ー 対	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無					_
	ベンチマーク区	☑分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他		特記事項に	内容を記載			

### 6 特記事項

節電対策として、医療行為に影響のない範囲で消灯の他、LED化に着手。外気導入を極力抑えた空調を実施中。ガラス面が多い為、カーテンを有効に使用している。CO2の削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。\*運用対策C421厨房の過度な換気量の適正化は、継続中

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	板村	喬ロン	イヤ	ルケ	アセ	こンら	7—										
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	-	0	0	0	6							
					₹	1	7	4	_	0	0	6	3	区	市町	村。	名」	東京都板橋	討区		
事	業所	等 の	所 在	地	町。以	名 番	争 地 下	前野	予町3-	-46-3	3										
事	業所等	きの タ	延床面	ī積		4	,888	.00	$m^2$			T 等 レギ			責年 用:		の 間	■ 1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所	有		] 他	1者月	斤有									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		] 建	物の	)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)			建物の一	一部(	(その	)他)
共口	告範囲	$\mathcal{O}$	・たて日	日次		事務	所					商業	纟施	没(物	物販)			商業施調	殳(飲	(食)	
羊区	口即进	Vノ土	:/この月	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	設				その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号号		5	4	2	連	鎖化	匕事氵	業区2	分		直営	店		□ 加盟原	芋		非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	デー 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書に □ の利用		環境(	西値
前か	年度ら			容点																	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	253	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	490	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	12	t
	総計(④=②+③)	4	502	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	100.2	$kg-CO_2/m^2$

		田東在小山	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	63,721.9	45.00	2,867.5	0.0136	143.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	497,675.0	9.97	4,961.8	0.4890	243.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	213,290.0	9.28	1,979.3	0.4890	104.3
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					9,808.6		<sup>15</sup> 490.7
その				$\mathrm{m}^3$	18,582.0			0.2660	4.9
他	. 1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1			$\mathrm{m}^3$	18,582.0	/		0.4000	7.4
								12.4	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> п «	かみをある乾は			A203	具体的な取組目標と内容の設定
租前	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
エ :	ネルギー等の	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
使丿	用状況の把握	D101	王安苡州の使用仏仏の石佐	B109	ユイルヤー使用里の <u></u> 削中及比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運 用 対 策				
省					
エネ					
ルギ					
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
策	放 佣 体 寸 刈 來			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	以哪等八刈來			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

# 6 特記事項

今年も昨年と同様に照明器具のLED化を推進中。冷温水発生器のバックアップ・中間期対応の検討中。CO2の削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。

#### 1 事業所等の概要

	1 /1 < / /		170																
事	業所	等(	の名	称	板棉	喬セ、	ントラ	ラル:	クリニ	ニック	7								
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	7				_	
					Ŧ	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市田	丁 柞	寸 名	z 東京都板橋区	
事	業所	等の	所 在	地	町以以	名 番	i 地 下	小豆	〔沢2-	-16-1	15								
事	業所等	手の 延	€床面	ī積		1	,031	.00	$m^2$		業				責 年 - 用				年未満
所	有	7	形	態		自己	所	有		□ 他	1.者页	ff有						<del></del> -	
報	告	1	範	囲		建物	カの生	全部		] 建	物の	)—≒	部(ラ	ーナ	ント)			□ 建物の一部(その値	也)
共口	告範囲	$\sigma$	ナフ H	1 冷		事務	歽					商業	纟施言	没(华	勿販	)		□ 商業施設(飲食)	
羊区	古軋囲	の土	につけ	1 述		工場	∃ 7					複合	施	没				■ その他	
に	本 標 : おける	細分	類番	号	8	3	2	2			么事美	<b>業区</b> 2	分		直	営「	吉	□ 加盟店 ■ ៛	丰該当
再の	生可能	ミエネ 用	ベルキ 状	· 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の			ネルジ	ギー	·電	□ 証書による環境価 の利用	値
前か	年度の			容点															

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 35	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<b>4</b> 69	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 66.9	$kg-CO_2/m^2$

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	- PO(100 (0)(4)	田東4小川	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
.[+].	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	107,724.0	9.97	1,074.0	0.4890	52.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	33,483.0	9.28	310.7	0.4890	16.4
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						<sup>(4)</sup> 1,384.7		69.1
その	水道及び工業	道及び工業用水道			741.0			0.2660	0.2
他	公共下水道	道		$\mathrm{m}^3$	741.0	$\overline{}$		0.4000	0.3
	<u> </u>	合 計				/			0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> п «	かみまる乾は			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>和</b>	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
省工ネ	運 用 対 策				
ルギー 対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102 D104	セントラル空調のフィルター清掃 空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D104	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	取   佣 等 八 刈 束			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無					_	
	ベンチマーク区	☑分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%	
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t	
	その他		特記事項に内容を記載					

### 6 特記事項

照明器具のLED化については、蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。夏季の空調設定温度27度を実施し不定期にパトロールにてチェックを行っている。CO2の排出量削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。\*運用対策C123の温湿度の適正管理継続中。

#### 1 事業所等の概要

	7 /10/		- 100																					
事	業所	等	の名	称	板棉	喬中:	央看	護	専門	学校	ζ													
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	8										
Γ.					Ŧ	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	i町	村	名	東京	都板	橋区	-		
事 	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	F 地 下	小豆	[沢2-									_						
事	業所等	等の タ	延床面	i積		3	,018	.55	$m^2$	事之	業	「等 レキ	の - -	実 . 使	績	年 用	度期	の 間		1年	度分			l年未満
所	有	•	形	態		自己	2所7	钉		] 他	者所	ff有												
報	告		範	囲		建物	カの生	企部		〕建	物の	)— <u>‡</u>	郭(ラ	ーナ	ン	ト)			〕建	物の	)—≒	郛(-	その	他)
報	告範囲	の主	こたる用	徐		事務							(施		物	販)			]商	業別	包設(	(飲:	食)	
						工場	<u>=</u>					複合	施	設					そ	の他	1			
に	おける	5細分	£業分 分類番	: 号	8	1	7	1	連	鎖化	(事業	業区:	分		] j	直営	店			加盟	虚店		<b>=</b> -	非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の	可能 (受入	工	ネノ	レギ	一電	Ĺ		証書の利	ドによ.  用	る環	:境佃	5値
前 か		の 報 の <i>薬</i>	设 告 内 区 更	容点																				

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 57	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 108	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 35.7	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
	その他(灯油) その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 を間(22時~翌18		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	122.8	45.00	5.5	0.0136	0.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_		昼間(8時~22時)		kWh	222,098.0	9.97	2,214.3	0.4890	108.6
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
					<sup>(4)</sup> 2,219.8		108.9		
その	水道及び工業	合 計 k道及び工業用水道			1,024.0			0.2660	0.3
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	1,024.0	/		0.4000	0.4	
		合 計				/			0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化对策	マノ天旭小		1	7 11/14/14
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
 	職体制の整備			A203	具体的な取組目標と内容の設定
자土   7	取 仲 刑 ひ 笠 浦			A207	排出状況の整理・分析・提供
	) . 18 44 -	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
	TI 4/1 //L V/ 1/L 1/E				
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
业					
省工					
ネ					
ルギ					
ギー		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	凯伊坦宁县签			D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	凯/告谱 7 · 4 · 6:	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	設備導入対策			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無					_	
	ベンチマーク区	☑分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%	
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t	
	その他		特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

節電対策として、使用していない部屋等の消灯を実施中。授業の終了後は速やかな帰宅をお願いしている。CO2の排出 量削減目標として、対前年の1%の削減を目指している。

#### 1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	イム	スリ	ハビ	リテ	·—\$	/ョン	セン	/ター	東	京葛	5飾						
業	所	番	号	А	0	7	1	5		0	0	0	9							
				₹	1	2	4	_	0	0	0	6	区ī	市 町	村:	名	東京都葛飾	i区		
業所	等 σ	所 在	地	町。以	名 番	予 地 下	堀切	J3-26	6 <b>-</b> 5											
業所等	争の多	延床面	ī積		4	,259	.00	$m^2$									■ 1年度2	分		1年未満
有		形	態		自己	1所1	钉		] 他	1.者页	桁									
告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の	)—≒	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	−部(	(その	他)
生 猝 匪	i n i	- たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	う販)			商業施設	殳(飲	(食)	
口軋匠	リリノユ	こにの月	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
おける	細	分類番	号号	8	3	1	1	連	鎖化	と事 美	<b>業区</b> 2	分		直営	店		□ 加盟尼	ij		非該当
生可育	ピエ 用	ネルキ 状	一 況						_					バルギ	一電				環境信	西値
			容点																	
	業業告本お生年業所有毎標でで<	業 所 等 の 業 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 本 標 る 細 エ よ て ま 類 ル 状 生 可 和 出 用 の 報 告 内	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標を類が上で表別である。 本にはいる。 は、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別です。 は、対象を表別である。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別である。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を、まし、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、	業所番号A 業所等の所在地 業所等の所在地 戦所等の延床面積 素所等の延床面積 素所等の延床面積 香 筋囲の主たる用途 告 範囲の主たる用途 番 標準細分分番ギー況 本おける能工用	業所番号A 0 業所等の所在地  町以  本標準産業分類番号  本標準産業の利用が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が	業所番号A 0 7  業所等の所在地  「 1 2  町以 名番地  以 名称  以	業所番号A 0 7 1  業所等の所在地  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 1 2 4  「 2 3 4  「 3 4 259.00	業所番号A 0 7 1 5  業所等の所在地  以 4,259.00 m²  業所等の延床面積 4,259.00 m²  者 形態 自己所有 日	業所番号A 0 7 1 5 一 業所等の所在地 町 2 4 一 0 町 3 番 地 以 3 番 地 以 3 番 地 堀切3-26-5 業所等の延床面積 4,259.00 m² 事業 有 形態 自己所有 □ 他 告 範囲 建物の全部 □ 建物の全部 □ 建物の全部 □ は 告 範囲の主たる用途 □ 工場 本標準産業分類 8 3 1 1 連鎖化 本標準産業分類番号 8 3 1 1 連鎖化 本標準産業分類番号 8 3 1 1 連鎖化 年 可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 存電設備の設置	業所番号A 0 7 1 5 一 0 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 年 1 2 4 - 0 0 0 1 1 5 - 0 0 0 1 1 2 4 - 0 0 0 0 0 1 1 2 4 - 0 0 0 0 0 0 1 1 2 4 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 0 年 所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 9 9 乗所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 9 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 9 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 9 業所等の所在地	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 9 〒 1 2 4 - 0 0 0 6 区市町村名 東京都葛飾町 4,259.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度の 1年度の 1年度の 1年度の 1年度の 1年度の 1年度の 1年度の	業所番号AO715000000000000000000000000000000000000	業所番号A 0 7 1 5 - 0 0 0 9 業所等の所在地

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 207	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 403	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 8	t
	総計(④=②+③)	411	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 94.6	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	9,725.5	45.00	437.6	0.0136	21.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	524,423.0	9.97	5,228.5	0.4890	256.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	256,369.0	9.28	2,379.1	0.4890	125.4
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						<sup>(14)</sup> 8,045.2		<sup>15</sup> 403.6
その				$\mathrm{m}^3$	13,301.0			0.2660	3.5
他				$\mathrm{m}^3$	13,301.0			0.4000	5.3
	合 計								<sup>16</sup> 8.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化对策	C TO DCDEN	重点対策		 その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> п «	かん 型 の 軟 法			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和介	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
使丿	用状況の把握	DIO		B100	77. 10 次/19里7间十次/104
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
エネ					
ルギ					
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
策	以加木 1 2 2 2			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有		無		_			
	ベンチマー	ク区分	<del>\</del>		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)				kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他			特記事項に	内容を記載			

# 6 特記事項

照明LED化:全体の70%完了。データの蓄積及び空調機器の更新を随時行いCO2の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。

#### 1 事業所等の概要

	7 / 1 7//																					
事	業所	等	の名	称	イム	ス葛	<b>搞飾</b> /	ハー	小セ	ンタ	_											
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	0								
					₹	1	2	4	_	0	0	0	6	区	市	町	村	名	東京都葛飾	区		
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	F 地 下	堀切	]3-3(													
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		3	,512	.00	$m^2$	事	業 所 ネ <i>バ</i>	「等 レギ	の <u>-</u>	実 <i>i</i> ・使	績 [	年 刊	度期	の間	■ 1年度分	}		1年未満
所	有		形	態		自己	2所7	有		] 他	1者月	斤有										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の	)— <sup>‡</sup>	部(ラ	ーナ	ン	<b>、</b> )			] 建物の一	部(	(その	他)
土口	<b>北然</b> 国	1 m -	・ナフロ	3 \A		事務	所					商業	き施さ	没(5	物	坂)			] 商業施設	(飲	(食)	
羊収	告範囲	リワユ	こにつけ	1 述		工場	<u>크</u>					複合	}施	設				ı	その他			
	本 標 おける	細	分類番	号	8	3	1	1			と事業	業区2	分		Ī	直営	店		□ 加盟店			非該当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		再生気の			ネバ	レギ	一官	Ē	□ 証書に。 の利用	よるヨ	環境信	<b>西値</b>
前 か	年度らる	の 報 り <i>変</i>		容点																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 312	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<sup>②</sup> 608	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 6	t
	総計(④=②+③)	<sup>4</sup> 614	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 173.1	$kg-CO_2/m^2$

## 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	6,999.5	45.00	315.0	0.0136	15.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	804,841.0	9.97	8,024.3	0.4890	393.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	408,233.0	9.28	3,788.4	0.4890	199.6
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	<u></u> 수 計						<sup>(14)</sup> 12,127.6		608.9
その				$\mathrm{m}^3$	10,093.0			0.2660	2.7
他				$\mathrm{m}^3$	10,093.0			0.4000	4.0
		合 計							6.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □ √	<b>並み割の敷</b> 供			A203	具体的な取組目標と内容の設定
形丑. 7	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
Τ,	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	用状況の把握		主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運 用 対 策				
省					
エネ					
ルギ					
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
朿	以照体与对象			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	  設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	以用等八刈水			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

### 6 特記事項

基本対策の徹底から始め、データーの分析後、機器等の対策に移行する。節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。白熱電球・ボール型蛍光灯のLED化に着手。 CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。 ※運用対策C403の中央熱源機器等の季節設定は、継続実施中です。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	葛餌	第ロ~	イヤ	ルケ	アセ	ニンタ	<b>7</b> —										
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5		0	0	1	1							
					₹	1	2	4		0	0	0	6	区	市町	村	名	東京都葛飾園	<u> </u>		
事	業所	等 の	所 在	地	町。以	名 番	<b>地</b> 下	堀切	]2-66	6-17											
事	業所等	多の多	延床面	ī積		5	,707	.00	$m^2$	事	業	「等 レギ	の 	実 着 使	責 年 用	度 期	の 間	■ 1年度分		1	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の	)—‡	郭(ラ	ーナン	/ト)			]建物の一	部(>	その	他)
共口	告範囲	$\mathcal{L}$	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲:	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	:/Ca/	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	分類番	号号	8	5	4	2			と事 き				直営			□ 加盟店		<b>=</b> 3	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	一 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書に』 の利用	る環	境価	i値
前か	年度の			容点																	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	257	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	499	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	10	t
	総計(④=②+③)	4	509	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	87.4	$kg-CO_2/m^2$

		田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	<b>®</b> =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	43,200.8	45.00	1,944.0	0.0136	96.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
Tri.	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	567,171.0	9.97	5,654.7	0.4890	277.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	255,798.0	9.28	2,373.8	0.4890	125.1
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 9,972.5		499.4
その	その水道及び工業用水道			$\mathrm{m}^3$	15,822.0			0.2660	4.2
他	· 1 V II. 一 I. 注			$\mathrm{m}^3$	15,822.0			0.4000	6.3
							10.5		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □ «	サ 仕 判 の 軟 歴			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土 7	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	the second	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
,					
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
工					
ネル					
ギ					
]		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
ж	BY NU by 1 1/1 yr			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備道入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約
	_				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

### 6 特記事項

節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。照明のLED化については、取替完了。また、直管型蛍光灯のLED化も推進中の他デマンド監視装置を設置。 CO2削減目標として対前年の1%削減を目指している。 ※設備導入対策E109の冷温水管の保温は、完了しました。

#### 1 事業所等の概要

	3 /10//		- 100																			
事	業所	等	の名	称	おれ	它茶	屋口	イヤ	ルか	アプ	センタ	ター										
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	2								
					₹	1	2	4	_	0	0	1	1	区	市	町	村	名	東京都葛飾区	ζ.		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	· 地 下	四个	木5-	-19-7	7											
事	業所等	多の多	延床面	ī 積		5	,713	.00	$m^2$		業							の間	■ 1年度分	[	] 1	年未満
所	有		形	態		自己	所	有		□ 他	1.者页	Ff有										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		] 建	物の	)—‡	郭(ラ	・ナ	ント	)			〕建物の一	部(そ	<u>-</u> の(	也)
共口	告範囲	$\rightarrow$	・たて日	日冷		事務	歽					商業	纟施言	没(‡	勿郥	į)			] 商業施設	(飲1	)	
羊区	古軋曲	り 土	こにつり	月述		工場	∃ 7					複合	施	設					その他			
に	本 標 おける	細り	分類番	子号	8	5	4	2		鎖化	と事 美	<b>業区</b> 2	分		直	営	店		□ 加盟店		■ 🦻	非該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギー	一電	Ĺ	□ 証書によ の利用	る環	境価	i値
前か	年度ら			容点																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 245	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 476	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 11	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 487	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 83.3	$kg-CO_2/m^2$

## 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	その他(灯油) その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	48,407.2	45.00	2,178.3	0.0136	108.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_		昼間(8時~22時)		kWh	521,435.0	9.97	5,198.7	0.4890	255.0
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	230,893.0	9.28	2,142.7	0.4890	112.9
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	<sup>(4)</sup> 9,519.7		<sup>15</sup> 476.5
その				$\mathrm{m}^3$	16,981.0			0.2660	4.5
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			$\mathrm{m}^3$	16,981.0	/		0.4000	6.8
		合 計				/			11.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

	<u>吧坏価吸孔外外</u>	-	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □ <i>√</i>	並み割の動産			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	. W # 0	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の    状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
	運 用 対 策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
]		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
來				D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	以州等八八八八			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

### 6 特記事項

節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。LED照明への移行も継続中、デマンドコントローラーの活用で節電。 全館空調機更新完了。CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。 ※C105の昼休みの消灯、C123の温湿度の適正管理は、継続しております。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	新暮	葛飾	ロイ	ヤル	クリ	ニッ	ク										
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5		0	0	1	3							
					₹	1	2	4		0	0	0	6	区	市町	村	名	東京都葛飾区	ζ		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	争 地 下	堀切	J2-66												
事	業所等	多の	延床面	ī積		1	,978	.00	$m^2$		業			実 着 使	責 年 用	度 期	の 間	■ 1年度分		] 14	年未満
所	有		形	態		自己	]所	有		] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	)一岩	郭(ラ	ーナン	/ト)			]建物の一	部(そ	一の他	<u>也</u> )
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)														
羊区	口軋团	(ノ土	ここの月	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	<b>分類</b> 番	号	8	3	2	2			(事)				直営			□ 加盟店		■ 非	丰該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	王才 <b>、</b>	ベルギ	一電	ı	□ 証書によ の利用	る環	境価′	値
前か	年度ら			容点																	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 11	5 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	22	24 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	5 t
	総計(④=②+③)	<ul><li>4</li><li>22</li></ul>	29 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 113	$kg-CO_2/m^2$

## 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)		排出量 <sup>※1</sup>
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(大数 (ま数 (ま数 (ま数 (ま数 (ま数 (まま) (まま) (まま) (まま	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	2,755.9	45.00	124.0	0.0136	6.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	330,008.0	9.97	3,290.2	0.4890	161.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	115,696.0	9.28	1,073.7	0.4890	56.6
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	<u></u> 수 計					/	<sup>(4)</sup> 4,487.9		<sup>(15)</sup> 224.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	7,638.0			0.2660	2.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	7,638.0	/		0.4000	3.1
		合 計			/			5.1	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □	<b>並 仕 却 の 畝 </b>			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>於</b> 且	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
省エネ	運用対策				
ルギー 対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102 D104	セントラル空調のフィルター清掃 空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	取   佣 等 八 刈 束			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無					_
	ベンチマーク区	☑分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他		特記事項に	内容を記載			

### 6 特記事項

節電対策として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。照明のLED化については、白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。 直管蛍光灯についてもLEDへの更新の計画中。CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。※運用対策 C117の昼休み消灯は継続実施中です。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	クロ	!—/	<b>ў</b> —,	のさ	と												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5		0	0	1	4							
					₹	1	7	3	_	0	0	2	2	区	市町	村:	名	東京都板橋区	ζ.		
事	業所	地	町。以	名 番	<b>*</b> 地下	仲町	T1-4														
事	業所等	多の多	延床面	ī積		6	,017	.18	$m^2$		業				責年 用		の 間	■ 1年度分		□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	引所を	有		] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(>	その1	也)
华口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	日次		事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲							(飲:	食)							
羊区	口軋团	(ノ土	こでの月	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	<b>分類</b> 番	号号	8	5	4	2		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		■ 🦻	非該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	一 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環	:境価	i値
前 か	年度ら			容点																	

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 217	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 422	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 7	t
	総計(④=②+③)	<sup>4</sup> 429	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 70.1	$kg-CO_2/m^2$

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別 都市ガス その他 (LPG)		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			区用		6	7	<b>®=(</b> 6)/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	58,137.5	45.00	2,616.2	0.0136	130.5
料料	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	400,065.0	9.97	3,988.6	0.4890	195.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	197,352.0	9.28	1,831.4	0.4890	96.5
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						<sup>(14)</sup> 8,436.3		<sup>15</sup> 422.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	11,328.0			0.2660	3.0
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	11,328.0			0.4000	4.5	
		合 計							<sup>16</sup> 7.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×9とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<b>√</b> □	<b>並 牙 却 の 畝 唐</b>			A203	具体的な取組目標と内容の設定
<b>於</b> 且	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C217	その他設備の不使用時の停止
省エネ	運用対策				
ルギー 対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102 D104	セントラル空調のフィルター清掃 空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置
	取   佣 等 八 刈 束			E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無					_
	ベンチマーク区	☑分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他		特記事項に	内容を記載			

### 6 特記事項

2014年10月から開設。建物用途は老人保健施設で延床面積20,121.7㎡のうち6,017.18㎡(29.9%)を医療法人明芳会、14,104.52㎡(70.1%)を社会福祉法人明東会が運営をしている。節電対策として、医療行為に影響のない範囲にて、消灯を実施。CO2の排出削減目標として対前年の1%削減を目指している。

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	東列	京葛	飾絲	合約	病院											
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	5						
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	2	5	区	市町	村:	五 東京都葛	飾区		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	* 地 下	西新	小岩	<del> </del> 4-18	3-1									
事	業所等	争の)	延床面	ī積		15	,354	.00	$m^2$		業 ア ネ ル				責年 用:		1 1年度	き分		1年未満
所	有		形	態		自己	]所	有		] 他	1者列	痯								
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の	)— <sup>₽</sup>	羽(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の	一部	(その	他)
共口	告範囲	In ±	ーたス日	日次		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)														
羊区	口軋匠	リマノゴ	こにの月	力还		工場	<u>司</u>					複合	施調	没			■ その他			
	本 標 おける	細	分類種	号	8	3	1	1	連	鎖化	么事 🤻	<b>美区</b> 2	分		直営	店	□ 加盟	店		非該当
再の	生可能 利	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電	□ 証書 の利	による! 用	環境信	<b></b> 面值
前か	年度 ら 0		设	容点																

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>①</sup> 97	5 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1,90	7 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0 t
	総計(④=②+③)	④ 1,92	7 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 124.	$2 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$

## 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	,	田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量	二酸化炭素排出量	
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	101,110.2	45.00	4,550.0	0.0136	226.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
び熱	その他()			0.0					
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	1,952,904.0	9.97	19,470.5	0.4890	955.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,484,570.0	9.28	13,776.8	0.4890	726.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							<sup>(4)</sup> 37,797.2		1,907.8
その	水道及び工業	道及び工業用水道		$\mathrm{m}^3$	30,633.0			0.2660	8.1
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	30,633.0	/		0.4000	12.3
			/			20.4			

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置		
如姊仔州。				A203	具体的な取組目標と内容の設定		
和工	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供		
T '	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	用状況の把握		主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C105	昼休み時の消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止		
		C123	温湿度の適正管理	C129	季節に応じた温度設定の見直し		
				C217	その他設備の不使用時の停止		
	運用対策						
省							
エネ							
ルギ							
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃		
対策	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検		
朿	以用床口刈水			D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				D108	その他設備の定期的な保守・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E136	デマンドコントローラの設置		
	一一一			E137	高効率変圧器への更新・台数集約		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □	無		_			_
	ベンチマーク区	区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO2排出量(延月	床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	·	特記事項に内容を記載				

### 6 特記事項

空調用リモコンに「不在時のスイッチOFF」照明のスイッチに「不在時消灯」等の省エネ意識高揚の為のシールを貼っている。空調集中監視(遠隔リモコン)によるスイッチOFF作業を実施。CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。夜間不使用個所のスケジュール入力による停止は継続。CO2の排出削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。